

丹波篠山市立西紀北小学校 学習や生活に関する学力向上プラン

本校は、丹波篠山市学力・生活習慣状況調査（５年生：国語・算数、以下「市調査」と呼ぶ）及び全国学力・学習状況調査（６年生：国語・算数・理科、以下「全国調査」と呼ぶ）の結果をもとに「学習・生活に関する学力向上プラン」を作成いたしました。

学力の定着状況をご確認いただき、子どもたちの学習・生活習慣の改善や学校の教育活動に対して、ご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

※なお、本校は少人数のため、正答率や回答内容に個人差が大きい側面もあり、一概に本校の全校的な傾向とは言えないことを申し添えます。

課題と対応

国 語

文の構成を意識して学習を進めたり、段落ごとに要約する時間を設定したりし、自分の考えをまとめる力をつける。

成果と課題

- ・漢字の読み書き、物語文の読み取りについては、よく定着していました。また、資料から正しい事柄を抜き出して答える問題の正答率も高かったです。
- ・文章で答える問題においては無回答率が高かったです。また、文章の要旨をとらえて文章の構成を考え、書きまとめることにも課題があります。要因としては問われていることの理解が不十分であることや自分の考えや理由をうまく表現できていないことが考えられます。
- ・問題を解く際には、問題文の意図や指示が十分に理解できていないため、問いに答えることができないという課題がありました。

対応

授業の中では、段落ごとに要約する時間を設定して、文章の要旨とらえる学習を進めていきます。また、文章の全体像をとらえるため、文の構成についての学習も大切にしていきます。授業の振り返りの際には、学んだことを、字数制限を取り入れてまとめるなどの条件作文に取り組みます。これらの活動を取り入れることで、進んで自分の考えを文章にまとめることができる児童にしていきたいと考えています。

算 数

求め方や考え方を自分の言葉で説明する力をつける。
聞かれていることを整理して答えを書く習慣をつける。

成果と課題

- ・計算問題、面積を求める問題、グラフの読み取りなど、基本となる問題はよく定着していました。これは、計算検定を継続して取り組んだり、学習したことを反復練習して定着を図ったりしている成果だと考えられます。
- ・資料を活用して考えとその理由を答える問題、割合を比較して説明する問題については、課題がみられました。複数の資料から問われている内容を理解したり、考えを言葉で適切に表現したりする力に課題があると考えられます。

対応

算数では、自分の考えを文章表現してまとめることを大切にしていきます。授業で解き方の説明をするときには意識して算数用語を使い、考えを整理して説明する力をつけていきます。問題文を読むときには、問題の場面をイメージできるよう図や絵でかき表す習慣をつけていきます。他教科の学習でも読解力をつけることを大切にしていきます。

全体を通して

国語・算数・理科の結果より、読解力の課題がみられました。日頃から読書活動を大切に、楽しんで本を読む習慣をつけていきます。

成果と課題

○どの学年においても、項目によって全国平均を上回る結果と下回る結果がでています。3・4年生では、「学級の絆」と「いじめのサイン」の項目において数値が高く、クラスの仲間との協動的な活動を通して学級の絆を感じたり、友だちと仲良く生活しよう意識したりすることができていることがわかります。また、5・6年生では、「学級の規範意識」の項目において数値が高く、学校や学級の規則や決まりを守ろうという意識やあいさつをしようとする意識が高まっていることがわかります。

▲全体的に「学習習慣」の項目において数値が低くなっています。宿題は毎日しているものの、自分で学習計画を立てたり、主体的に学習したりする習慣が身についていないことがわかります。また、5・6年生においては、「成功体験と自信」の項目が低く、自分なりに努力したことがうまくいった経験が少なく、自分に対して自信が持てていない児童の割合が高くなっています。

対応

- ・学校の教育活動全体の中で児童が「できた」「がんばった」という自己肯定感や達成感を味わえるように、適切な支援をしたり、児童とともに喜んだりすることを大切にしていきます。また、児童が授業の中で自由に発言できる環境を大切にし、授業の中での「わからないこと」や「おたずね」を交流し、児童が主体的に解決する力をさらにつけていくことを大切にしていきます。さらに、中学校での学びも見据えて、自主学習など、児童が主体的に学習する習慣を身に付けていくための方法を学年に応じて取り入れていきます。

【保護者の方へのお願い】

学力の向上には、家庭での学習の習慣づくりが大切です。学校で学んだことをもう一度復習することで、学習したことが定着します。4月にお渡しした「家庭学習の手引き」を参考に、集中して学習ができるよう、環境づくりや励ましの声かけ等をお願いします。また、望ましい生活習慣を身につけるためにも、お子様と今一度話し合い、規則正しい生活が送れるようご指導をお願いします。

重点的に取り組んでいただきたいことは、以下の点です。

☐家庭学習に集中して進んで取り組む。

☐平日の学習時間を目安にして取り組む。

【1・2年 20～30分】 【3・4年 30～40分】 【5・6年 45～60分】

☐忘れ物がないか自分で前日に点検する。（低学年はいっしょに確認する）

☐いつも同じくらいの時刻に就寝し、起床する。

☐朝ごはんを毎日食べる。

☐情報機器の使用については家庭で話し合って使う。